



JASDAQ

平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 R I S E
代表者名 代表取締役社長 兵頭利広
(JASDAQ : コード番号 8836)
問合せ先 コーポレート統括部
総務部長 杉山顯士
(TEL : 03-5283-0851)

業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 1 日に発表いたしました平成 22 年 3 月期通期の業績予想 (連結・個別) について実績との差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値との差異 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,700	140	130	130	△0 円 84 錢
当期実績 (B)	2,057	23	49	55	△0 円 96 錢
増減額 (B - A)	△642	△116	△80	△74	—
増減率 (%)	△23.8	△83.5	△61.7	△57.3	—
(ご参考)前期実績 平成 21 年 3 月期	6,250	△3,215	△3,515	△4,399	△10 円 46 錢

(2) 個別業績

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,700	140	130	130	△0 円 84 錢
当期実績 (B)	2,057	24	49	56	△0 円 96 錢
増減額 (B - A)	△642	△115	△80	△73	—
増減率 (%)	△23.8	△82.7	△61.6	△56.9	—
(ご参考)前期実績 平成 21 年 3 月期	6,250	△3,213	△3,512	△4,396	△10 円 46 錢

2. 差異の理由

(1) 連結業績

引き続き厳しい景気情勢の中、主に前事業年度より繰り越した不動産商品物件の販売に注力し、また、引き続き経費の削減に努めてきました。

当初予想では、マンションおよび宅地分譲等の不動産売買で 2,400 百万円（マンションおよび宅地分譲売上 1,590 百万円、収益不動産売買 810 百万円）、賃料収入および手数料収入等で 300 百万円（賃料収入 230 百万円、フィービジネス 70 百万円）、の売上高を見込んでおりました。

マンションおよび宅地分譲売上げについては、第3四半期以降、値引き販売を実施した結果 1,590 百万円の予想に対して 1,501 百万円の結果となり 89 百万円の未達となりました。収益不動産売買については、鋭意、営業活動を実施しておりましたが、条件等の面で折合いがつかなかつたことから第4四半期において販売のための不動産の取得が進まず、490 百万円の未達となりました。

賃料収入に関しましては、ほぼ予想通りの売上高を計上することができましたが、フィービジネスに関しましては、積極的に不動産仲介の営業活動を実施しておりましたが、特に力を入れていた大口案件が第4四半期中に成約にいたらず 63 百万円の未達となりました。

この結果、売上高および利益とともに当初の予想を下回る結果となりました。

(2) 個別業績

個別業績につきましても、上記と同様の理由によります。

以上